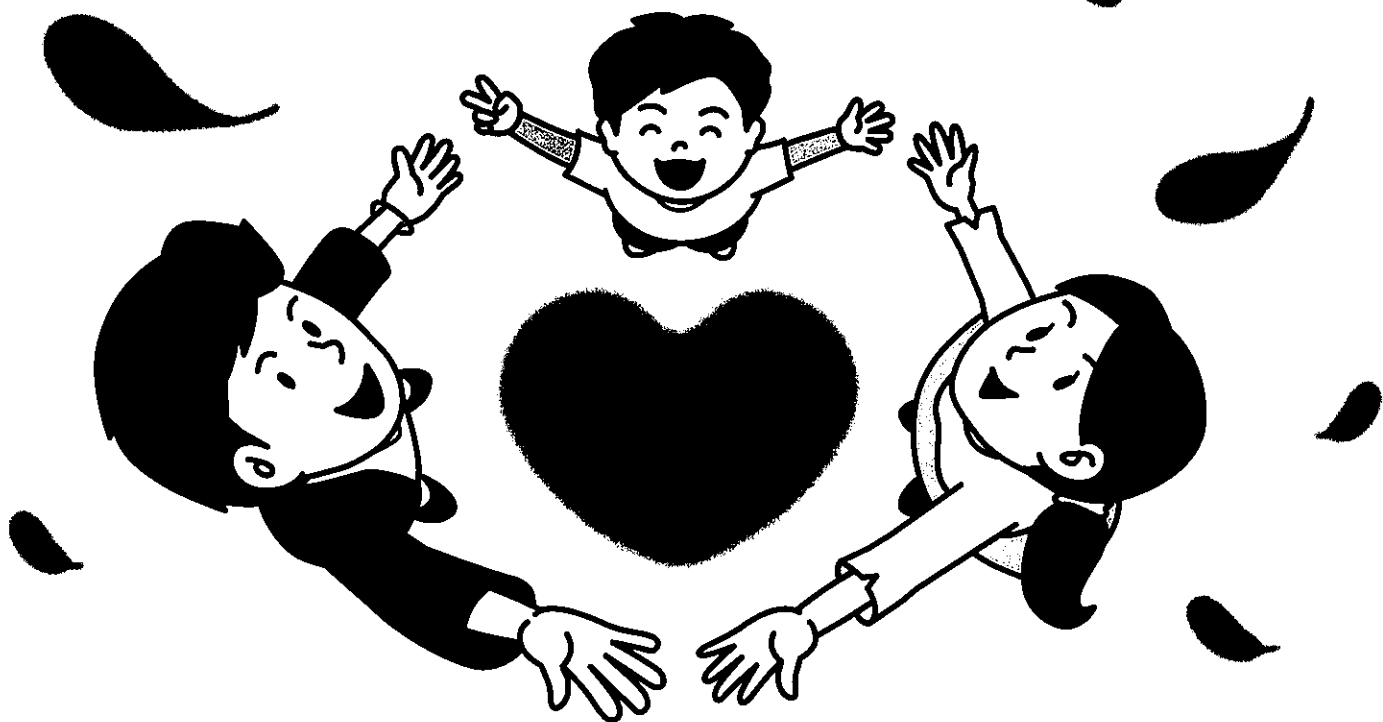


小さな“あい”が大きな愛になる。

知らぬ人でも、いざとなれば助けあい。
友達ならば、つらい時には励ましあい。
大切な人とは、苦楽をともに分かちあい。
同じ町に暮らす人同士、明るく声をかけあい。
私たちみんなが、思いやりの気持ちを持ちあい。

誰もが大変な時代だからこそ、
たくさんの“あい”が必要なんです。

一人ひとりの小さな“あい”は、
社会を支える大きな愛になる。
これからもずっとみんなで、支えあっていこう。



赤い羽根共同募金

皆様からのご協力をお待ちしております。
募金はお住まいの地域の共同募金会窓口までお持ちください。

お問い合わせ
社会福祉法人 北海道共同募金会 電話 011-231-8500
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7、4階

赤い羽根共同募金は「計画募金」です。

3～5月

助成計画と
目標を立てる



助成計画を立て、要望を実現するために必要な金額を「目標額」として決め、募金活動の準備に取り掛かります。

10月1日

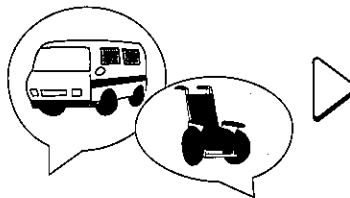
募金活動が
一斉にスタート



全道各地で10月1日から赤い羽根募金、12月1日から歳末たすけあい募金運動が始まります。

翌年度に向けて

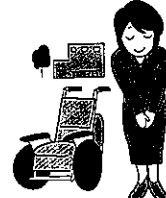
福祉団体から
申請を募集



社会福祉施設や団体、ボランティアなどから、助成が必要な福祉活動の申請を募集し、配分委員会等により申請内容を調査、検討します。

翌年4月

集計後
募金は助成先へ



寄付金額を勘案し、助成先と助成金額を決定します。4月に助成金が交付され、道内の福祉活動に使われます。

あなたの募金が、北海道の福祉を支えています。

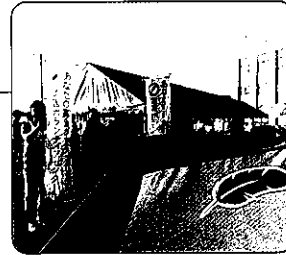
子どもたちや青少年の
健全育成のために

子育て中のお母さん、お父さんを応援する活動や、子どもたちが地域で暮らす様々な世代の人たちと触れ合う世代間交流事業のほか、児童養護施設等で暮らす子どもたちへの支援を行っています。



被災者とボランティアを
支える活動のために

大規模な災害が起こった際に被災された人々とボランティアをつなぐ災害ボランティアセンターの設置・運営支援や、被災した福祉施設の復旧支援等に役立てられます。



お年寄りが
安心して暮らせる
地域づくりに

一人暮らしのお年寄りのためにボランティアさんが訪問し、栄養の整った食事を届けたり、地域から孤立をなくすことを目的とした活動等に役立てられています。



障がいのある人
たちの社会自立
のために

障がいのある人たちの社会参加支援、就労活動に必要な機器の購入、または福祉施設への車両整備等に役立てられています。



地域で活躍する
ボランティアの
育成や研修に

学校で行われる思いやりの心を育てる福祉教育や、地域で福祉の担い手を育てるボランティア研修会等に役立てられています。



福祉の現場から「ありがとう」の声が届いています。

赤井川村

赤井川手話会

手話講習会
開催

赤い羽根共同募金の助成金のおかげで、ろうあ者の講師と手話通訳者を招き、手話講習会を開催することができました。参加者には、小学生もおり、楽しくも真剣に受講されていました。手話を使ったビンゴゲームも大変盛り上がりました。手話講習会で、ろうあ者の理解や手話を通じた福祉学習の推進につながっていると思います。ありがとうございました。



本別町

NPO法人
ほんべつフリーライフ

障がい者の就労
拠点エアコン整備

この度、赤い羽根共同募金の助成金でエアコンを購入することができました。当事業所では、町内の農家の方から依頼をいただき、作業所で豆類の選別作業を中心に行っています。エアコンがない時は、窓を開けても室内が35℃以上の高温になっていたのが、エアコンを設置・使用することが作業所内が快適な室温となり、利用者も快適に作業を進めることができるようになりました。本当にありがとうございました。

